しつけ教室　㈱坂出葬儀社［香川県坂出市］

愛犬家向けセミナーを実施し ペット同伴葬儀プランを訴求

▶イベント名	「わんちゃんのしつけ教室」
▶目的	ペット同伴葬儀プランの販促
▶ターゲット	ペット愛好家

イベント概要

香川県坂出市を拠点に葬祭事業を手がける専門葬儀社㈱坂出葬儀社（社長河﨑和義氏）が実施した、ペット（イヌ）愛好家向けの無料ワークショップ。今年6月、同社の「家族葬ホール なごみ」でサービス開始した、香川県内初となる愛犬の同伴が可能な家族葬プラン「わんハートセレモニー」をPRすることが主目的。わんハートセレモニーの誕生は、今年愛犬を亡くしたばかりの社員による提案がきっかけ。また、百十四経済研究所（香川県高松市）調べによると、香川県の100世帯当たりの犬飼育数は約15頭と、全都道府県で最も多いことも背景の1つ。

ペット（イヌ）のしつけ教室も同社員が企画立案した。また、同社の河﨑社長が犬好きであり、その愛犬のしつけを行なった訓練士を講師に招くことでイベントが実現した。

プログラムとしては、しつけ訓練をはじめる前に、訓練犬で嗅覚実験を実演。特別に訓練された犬だけでなく、参加者の愛犬でもしつけしだいでさまざまな匂いを嗅ぎ分けることができる、といったデモンストレーションで興味を惹きつけた。その後は参加者を4グループに分けてしつけのポイントをレクチャーした。

「わんハートセレモニー」プランのイメージ画像。同伴できるのは10kg以下のイヌに限定

企画の意図

前述のとおり、新プランのPRはもちろんだが、特集32頁にあるとおり、同社が毎月1回実施しているイベントラインナップのコンテンツとして将来的に組み込むことも企図されている。講師は、社団法人日本警察犬協会の公認を受け、香川県警察本部の嘱託により、警察犬の養成訓練や、警察犬種以外の家庭犬を訓練する丸亀警察犬訓練所の亀山篤志所長をはじめ訓練所スタッフ総計4人。訓練所からは、ボランティアでの講師依頼をご快諾いただいている。「しつけ」をキーワードに、ペット愛好家の来店ハードルを下げる意図もあった。

しつけ教室の様子

販促と運営

SNSやホームページのほか、同社が発行するフリーペーパーを活用。近隣の商店等200店舗近くにもチラシを置いてもらうなどして販促を徹底。そのほか、既存顧客や事前相談等に訪れた人にも告知をすることで集客に努めた。運営は丸亀警察犬訓練所のスタッフ4人と坂出葬儀社の4人（うち1人は案内係）。

「わんハートセレモニー」のチラシ

効果と成果

初の試みであり、集客に苦心するのではないかと想像されたが、蓋を開けると19人（8頭）の参加となった。参加者層は家族連れを中心とした40歳～50歳代。次いで20歳～30歳代と幅広い。実際にペットのしつけに悩んでいる人が多く、既存会員以外の参加もあったほか、ペットつながりで新規客を紹介する会員もあった。

実際の成果についてはこれからというところだが、ペットつながりで参加者からクチコミが広がることに期待を寄せる。なお、今回は新規会員獲得までには至っていないが、愛犬家のコミュニティに同社の存在と「わんハートセレモニー」が少しでも認知されることを期待している。また、訓練士を目指している中学生が付き添いのおばあさんとともに「チラシを見て」当日飛び込み参加するなど、微笑ましいエピソードも。これがきっかけで本当に訓練士になったとすれば、「将来有望な若者の今後の一助になることは喜ばしいことです」と担当者は語る。

課題と展望

当初、会館敷地内の駐車場スペースで実施する予定であったが、当日の気温が想像以上に高いことが予報されていたため、前日に急遽会場を変更。なごみ会館2階の40畳ほどあるロビースペースでのオペレーションとなった。これにより、8頭が閉塞感のある空間に一堂に会したため、ストレスを感じる犬の姿もあったという。一方、会場変更を前日に決断したこともあり、会場内の汚れ防止策としてパンチカーペットなどの事前準備は滞りなくできた。

販促については、近隣の動物病院などに「わんハートセレモニー」のチラシを置いてもらうことを依頼したものの、「同伴可能ということよりも、葬儀そのものを連想させてしまうので……」とやんわり断られた。この経験を活かし、今後はしつけ教室を全面に押し出したアプローチを行なっていく。なお、参加者からは高評価を得たこともあって、今後も同様のイベントを開催する予定。さらに、訓練所にも今回の参加者から本格的なしつけの依頼があったことから、将来的に両社ともwin-winの関係が見込めるとしている。

会社概要

社名	㈱坂出葬儀社	所在地	香川県坂出市久米町1-14-5
代表	河崎和義		
社員数	17人（P/A含む）	設立	1972年
年間施行件数	約200件	会館数	2か所

営業部係長
山城賢志（さとし）氏